

イラン代表団向け講演会の概要 木本 幸一郎

国連ハビタット福岡本部および福岡市より要請があり、国連ハビタット・イラン代表団の日本研修の一環として、福岡市建築物安全推進課と JSCA 九州支部による講演会が行われました。イラン国では被害地震が多発し、住宅等の耐震化への対応や市民レベルの地震への備えが課題となっています。

開催日：令和 6 年 3 月 4 日（月）

場所：国連ハビタット福岡本部ミーティングルーム（アクロス福岡）

次第：

福岡市建築物安全推進課からは、2005 年福岡県西方沖地震の被害状況、揺れやすさマップと警固断層帯南東部の被害想定、福岡市の耐震診断・耐震補強への補助制度や普及啓発の取り組みなどが紹介されました。イラン政府関係の参加者は、自国でも導入を考慮されるのか補助額や率の大きさに関心を持たれていらっしまったようです。

次に JSCA 九州支部・今林支部長から、免震の概要そして免震は人命保護だけでなく機能維持ができることなどの説明を、木本から、(一社) 日本免震構造協会 (JSSI) 制作の免震紹介ビデオ、一般財団法人免震研究推進機構 (JSIL) の実大動的試験機のビデオ (いずれも英語版) の上映と、「Seismic Isolation worked well under the 2016 Kumamoto Earthquake」と題して、熊本地震時に免震病院は医療活動が中断せずに継続できたこと、

弊社設計の免震マンション（2棟）では無損傷で無被害であったことなどを紹介しました。英文で資料作成したこと、英文で口頭発表したことについて、イラン国の参加者からお礼のお言葉を頂きました。

<講演後日、参加者からのコメント>

①講義を行って下さいまして誠に有難うございました。

彼らのほとんどが初来日で、日本の自治体の防災の取り組みや、日本の耐震、免震技術についてのお話を伺うのも初めてでした。今後、イランで病院や政府の建物を建設する時に大変役立つ貴重な知識や日本の事例を学び、また同時に日本を深く知る事ができた良い機会となりました。

②国連ハビタットのイラン代表団の日本研修におきまして、講義を行っていただき、誠に有難うございました。皆さまの専門知識を共有していただき、地震に対する市民の備えを向上させるために取り組まれた方法について、熱心に議論して下さったことに感謝しています。有益かつ感銘を受けたと参加者からの感想がありました。貴殿のプレゼンテーションから、イランにおける地震や自然災害のリスクを軽減するために、イランの人々に役立つ多くのポイントを見出したことだと思います。